

バングラデシュ派遣中の とっとり国際協力大使 宮本優子さんから報告がありましたので、ご紹介いたします。(H20. 6. 26)

昨日無事ダッカに到着しました。
空から見たバングラデシュは茶色と緑！！
大きな沼がいくつもあると思ったのですが、
よく見たら水没した田んぼでした。
しかし、これがバングラの「普通」のようです。



昨日から写真をたくさん撮っていますが、
一番バングラらしい写真を添付します。
車、リキシャ（バングラの人力車）、人がごった
がえしています。
道路を横断するのは至難の業ですが、
ベンガル人たちはスイスイと道路を横切ってい
きます。
私もいつかスムーズに横断できる日がくるでし
ょうか。
今の気持ちを忘れずに安全に過ごしたいもので
す。



昨日は先輩隊員のみなさんが歓迎会をしてくださり、
今日はいろいろなオリエンテーションを受けてきました。
外は日本の真夏よりもさらにジメジメとした感じで、
かんかんでりかと思いきや、いきなり雨が降り出したり・・・
暑いですが、ごはんもおいしいですし、
何より民族衣装を買って着るのが今一番の楽しみです。
& nbsp;
では、報告まで。

20年度1次隊 バングラデシュ派遣 宮本優子

আসসালামু আলাইকুম

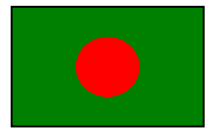
アッサラーム アライクム

Bangladesh通信 NO.1
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年7月3日

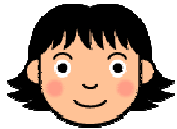
岩美西小学校のみなさん、お久しぶりです。6月23日に日本を出発し、24日にバングラデシュという国に到着しました。

バングラデシュは聞いていたとおり、とても暑い国です。日本の真夏のようなお天気ですが、今は雨期といって雨がよくふる季節です。じめじめとしていてむし暑く、日本の梅雨とにているかもしれません。

2日ほど前にみなさんに手紙を書きました。どのくらいでとどくかわかりませんが、楽しみにしててください。そして、これから時々バングラデシュの様子をおたよりにしてとどけたいと思います。

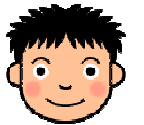


題名にしたアッサラーム アライクムは、こちらのあいさつの言葉です。ほかにも「ノモシユカル」というあいさつもありますが、ほとんどの人がこのあいさつを使います。



アッサラーム アライクム (あなたの上に しあわせが きますように)

ワー アライクム アッサラーム (しあわせが あなたの上に きますように)



いつでも、相手のしあわせをいのるあいさつってすてきだなと思いました。わたしはまだベンガル語があまり上手ではないので、バングラデシュの人々とたくさんお話をすることはできません。けれども、あいさつをすると笑顔で「ワー アライクム アッサラーム」と返してくれて、とてもうれしくなります。

みんなも友達や地域の人に明るいあいさつをしてください。きっとみんな笑顔になるよ。



← バングラデシュの子どもたちも、カメラを見ると「とってとって〜」とよってきます。みんなといっしょだね。 大根のトルカリ(カレー)とナン ↓

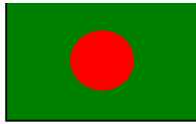


こちらはみんな手で食べるので →
 食事の前にはきれいに手を洗います。

আসসালামু আলাইকুম

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



Bangladesh通信 NO.2
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年7月14日

Bangladeshの食事

Bangladeshに到着し、3週間がたとうとしています。おなかをこわすことなく
 元気にすごしています。こちらの生活に慣れるために10日間ベンガル語の学校に通いな
 がらベンガル人の家族と一緒に生活しました。今回は食事について紹介します。

ふつう、1日に5回食事をします。

- 朝 7:00 あさごはん
- 10:00 ナスタ(おやつ)
- 昼 1:00 ひるごはん
- 夕方 5:00 ナスタ(おやつ)
- 夜 10:00 ばんごはん



ナスタ: ジラピ(うずまきのようなかたち。とてもあまい)、ニムキ(しおあじのあげパン)

朝食: ルティ(うすいパンケーキのようなもの)、たまごやき、やさいのトルカリ(カレー)



夕食(ばんごはん)には、やさいや肉・魚などいろいろな種類のトルカリ(カレー)がなります。ごはんの上に少しずつのせて、手でまぜながら食べていきます。左上はダールスープといって日本のおみそしるのようなもの。ごはんにかけてまぜて食べています。



ある日の昼食: キチュリ(まめのスープでつくるおかゆ)、ポトル(やさいの名前)のトルカリ

こちらの食事はほとんどがトルカリ(カレー)ですが、日本のカレーとは少しちがって汁がさらさらとしています。

Bangladeshの人たちは「から~いもの」と「あま~いもの」が大好きです。ほとんどのおかずにはとうがらしが入っていますし、おやつやミルクティにはたくさんのさとうを入れます。暑い国なので、あまさもからさも体を元気にしてくれるように感じます。が・・・わたしはからいものが苦手なので困るときもあります。大丈夫かな？

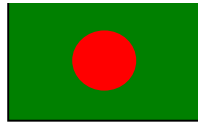


さて、最後にみなさんに宿題を出します。夏休み中に右の計算をしてみてください。次のお便りで答えあわせをしましょう。

$$8 + 9$$

আসসালামু আলাইকুম

アッサラーム アライクム



バングラデシュ通信 NO.3
20年度1次隊 青年海外協力隊
岩美町立岩美西小学校 宮本優子
2008年8月25日

みなさん、夏休みはどうでしたか？暑かったですよね、きっと楽しい思い出がたくさんできたでしょうね。2学期はたくさんの行事があると思いますが、友達と力を合わせて目標をもってがんばってください。

バングラデシュは、もうすぐ雨期が終わります。日本は梅雨の後に暑い夏がやってきますが、バングラデシュでは雨期の後には秋がやってきて、だんだん涼しくなっています。また今度、こちらの季節の様子も伝えていきたいと思っています。



バングラデシュの生活②

前は食事について伝えましたが、まだまだバングラデシュのおうちにはビックリすることがたくさんありました。まずトイレ！なんだか見たことがある気がしませんか？日本の和式トイレとそっくりです。こちらではトイレットペーパーを使わず、横にある水道やシャワーを使って、左手でおしりをきれいにします。右手でごはんを食べて左手でおしりをきれいにする、というように使い分けているそうです。次に台所です。これは「ボティ」といってバングラデシュの包丁です。→→→→↓



左の部分を足でふんで、野菜や肉などを動かしながら切っていきます。らっきょうを切る包丁に少し似ているなと思いました。また、こちらでは停電がだいたい毎日あります。ろうそくの灯りで料理をするのにも、だいぶ慣れてきたところです。

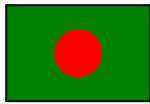


では、また次のおたよりであいましょう。

前回の問題の答え (↑ 2年生教室の壁)

ベンガル数字で「8」は4、「9」は7のことです。だから8+9は4+7ということになり、答えは11でした。むずかしかったかな？ついでに、ベンガル数字の1~10はこんなかんじです。わたしは、いつも算数で8と4、9と7をまちがえてしまいます。

১	২	৩	৪	৫	৬	৭	৮	৯	১০
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10



断食が始まりました

2学期最初の行事、運動会が終わりましたね。前の校長先生、山本校長先生から「岩美西小学校の子どもたちはとてもがんばっていたよ」とメールをいただきました。みんなの一生懸命な姿が思い浮かび、うれしくなりました。

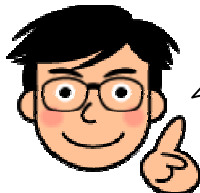


さて、バングラデシュでは9月2日から約1ヶ月間の断食が始まりました。

断食というのは「何も食べない・飲まない」ということです。これは、イスラム教徒（イスラム教の教えを信じている人々）だけがしていますが、バングラデシュでは10人のうち9人がイスラム教徒ですので、ほとんどの人が断食をしていることになります。

断食といっても1ヶ月間、本当に何も食べないわけではありません。食べたり飲んだりできないのは、お日様が昇っている間だけです。また、子どもや赤ちゃんがおなかにいるお母さんは、断食をしなくてもよいとされています。

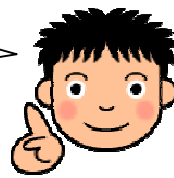
みんなは長い時間食べたり飲んだりできないと、おなかがすいてやる気が出なかったり、いらいらしたりしませんか。朝から夕方まで食べたり飲んだりできないのは大変つらいことです。人々はどのように断食をするのでしょうか？それにはいろいろな理由があるようです。



貧しくて毎日3回きちんと食べられない人々が、どのような気持ちで過ごしているのかを感じるためだよ。そうすることで、毎日3食きちんと食べられることに感謝できるんだ。

私たちの神様アッラーのためよ。私たちが我慢して、きちんとお祈りをすることで、アッラーが喜んでくださるのよ。

断食をすることで、体が元気になるんだよ。



一日のすごしかたのれい

あさ 3 4 9 ひる 3 6 よる 10



がっこうやしごと



朝4時ごろから夕方6時までには水1てきも飲みません。夕方6時の食事「イフタル」をみんなが楽しみにしています。イフタルは写真のような揚げ物や甘いものがたくさん。お祈りをしながら食べます。



わたしもお昼ごはんをがまんして生活しています。おなかがへると仕事に集中しにくくなりますが、イフタルを食べるときに「食べられるってしあわせだなあ」と、あらためて感謝しながら食べることができます。

「国の花を教えて」

バングラデシュの子どもたちも花が大好き。職場ではあいさつとともに時々お花をプレゼントしてくれます。



←「これはシャフラだよ～」

と、前任者（私の前にここで働いていたボランティア）に習った折り紙で作った花を見せてくれる子どもも。

シャフラについて説明する時、子どもたちはみんな「**私たちの国の花、シャフラ**」と言います。バングラデシュの子どもたちは、バングラデシュのことが大好き。「**私たちの国**」という言い方も、聞いていてとてもあたたかい気持ちになります。そして聞かれるのが

「マダム、あなたたちの国の花はなあに？」

国の魚、国の果物、国の鳥・・・子どもたちは自分たちの国のことを紹介した後、必ず私の国のことを尋ねてきます。

恥ずかしい事に、私はすぐに答えられませんでした。

「えっと・・・たぶん桜かな。」

皆さんは日本の国の花、鳥、知っていますか。私はバングラデシュに来て改めて日本を見つめる機会を得たように感じました。

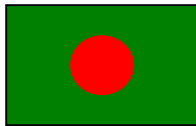
平成20年度1次隊・小学校教諭

バングラデシュ派遣 宮本優子

আস্রানাঙ্কু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.5
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年9月25日

金曜日がお休み! ?



上下どちらもモスクです。丸い屋根や平らな屋根など、形はいろいろ。



みなさんは土・日のお休みをどう過ごしましたか? こちらバングラデシュでは、学校やいろいろな会社、お店は金曜日にお休みし、土曜日からまた新しい1週間が始まります。なぜなら、こちらでは「イスラム教」という宗教を信じている人が多く(10人中9人くらい)、金曜日はお祈りの日だからです。金曜日にはモスクという日本のお寺のようなところに男の人が集まり、

みなでお祈りをします。(女の方は家でお祈りをすることになっていて、わたしも女性ということでモスクの中に入ることはできません。)

また、郵便局や銀行、役場のようところは金・土がお休みですが、学校のお休みは金曜日だけ

です。そのかわり、断食の間とその後にある「イード」というお祭りの時期は1ヶ月くらいの長いお休みがあります。少し遅い夏休みといった感じです。



子どももりっぱな「パンジャビ」というスーツをきて、モスクへいきます。



今回、バングラデシュのカレンダーを届けました。ベンガル数字で日付が書いてあるので少し見にくいとは思いますが、よ〜く見てみてください。日付が2つずつ書いてあるでしょう? バングラデシュでは「西暦」(私たちがいつもつかっているカレンダーと同じ暦)と、ベンガル暦(バングラデシュだけで使われている暦)の両方の日付が書いてあるのです。西暦の4月14日は、ベンガル暦の1月1日(つまり元日)となるのです。

この2つの暦以外にも、イスラム暦(イスラム教の人たちが使う暦)もあって、イスラム教徒たちはそれを見ながら断食を始めたり、お祈りの時期を決めたりするのだそうです。3つの暦が一緒に書かれたカレンダーもあるということなので、来年のカレンダーが売り出されたら、岩美西小学校にも届けたいと思います。楽しみにしていてくださいね。

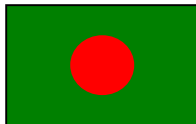


さて、日本には暦はひとつだけでしょうか? 実は普段あまり使いませんが「旧暦」というもうひとつの暦があります。「七夕さまを7月7日でなく8月7日にする」とか「今年の秋分の日は9月23日だ」というのは、日本のもうひとつの暦「旧暦」に関係しているそうですよ。もっと知りたいな、と思った人は家族や地域の方にたずねてみるといいかもしれませんね。

আস্রানা মু আলাইকুম

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



バングラデシュ通信 NO.6
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年10月15日

おまつりだ～

断食明けのお祭り「イード」が近づいてくると、町にはこんなゲートがたくさん立ち始めます。そしてお店はイードのために新しい服を買う人でにぎわいます。苦しい断食をし通した喜びを家族や親戚たちと集まって祝いするイードは、日本のお盆とお正月を合わせたような大きなお祭り。みんなとてもうれしそうでした。

10月2日。この日は朝からみんな新しい服を着てすごします。男の人はパンジャビという白い服にトゥピという帽子、女の人はサリーを着て、メヘディ(手に模様を描く)をする人が多いです。私もしてもらいました。



朝8時半くらいから広場ではお祈りが始まります。この日はたくさんの方が集まるため、広場には特別のお祈り会場が設けられました。いつもより長い時間お祈りした後は、お墓参り。(残念ながらその様子は見られませんでした。) まるでお盆のようでしょうか?



それから、近所や親戚のうちを回っていろんな人と食事をしながら話をします。イードはみんながふるさとに帰ってくるので、村はにぎやかに、

町は静かになります。私は今回のイードは村で過ごしました。みなさんが初めて会う外国人の私(ここでは私が外国人です)を「うちにおいて」「うちで食べなさい」と歓迎してくださいました。

バングラデシュの人々は、人をもてなすのが大好き。人を招いて一緒に食べるということは、一緒に時間を過ごし、たくさん話をして相手のことを知ることにつながるとおもいます。それが大好きなバングラデシュの人々は、友達づくりが大好きで上手なんだろうな、と思うのです。

バングラデシュの人々は、人をもてなすのが大好き。人を招いて一緒に食べるということは、一緒に時間を過ごし、たくさん話をして相手のことを知ることにつながるとおもいます。それが大好きなバングラデシュの人々は、友達づくりが大好きで上手なんだろうな、と思うのです。

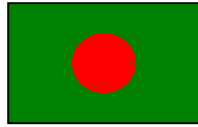


イスラム教の人たちが、大切に思う人、尊敬する人に対してするあいさつ。相手の足のほこりを自分にかけて動作をし、しっかりと抱き合います。

আস্রানাধু

アッサラーム アライクム

আলাইকুম



Bangladesh通信 NO.7
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年10月30日

小学校の様子



断食とイードのお休みが終わり、学校に子どもたちが戻ってきました。
 やはり子どもたちがいるのにぎやかで毎日楽しいです。

私の働いているところは「郡リソースセンター」といって、地域の小学校の先生たちがトレーニングを受けにくるところです。センターのすぐ隣には「シャヒッティカ・モデル小学校」があり、そこで1～5年生、約400人の子どもたちが学習しています。



校庭で遊ぶ子どもたち

400人の子どもがいるのに、校庭はこれだけの広さしかありません。けれど、休憩時間にはここで鬼ごっこのような遊びをしたり、なわとびをしたりして楽しんでいます。ただ、みんなで運動をしたりすることは難しいので、体育も教室で行います。運動会などありません。

学習の様子



長い机・いすを3～4人で使います。一人ひとりの場所はせまいけれど、学習にむかう子どもたちの目は真剣です。こちらでは次の学年にあがるためにテストがあるので、みんな一生懸命です。

体育の様子



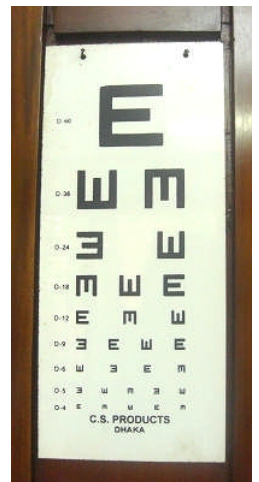
高学年の役割

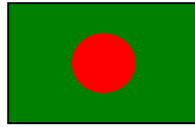
最高学年5年生は、学校全体に関わる仕事(ゴミ捨て、校庭の整備、授業終わりのベルを鳴らす等)をすすんでしています。ここで高学年の子どもたちはとても頼もしいです。



10月10日は「目の日」でしたね。学校でも視力検査があったかな？
 こちらの病院に行った時に(病気ではありませんのでご心配なく)、目の検査セットを見てびっくり！世界中どこでも「C」のマークだと思っていたら、こちらでは「E」のマークで視力検査を行うようですよ。Cより簡単に方向がわかるかもしれないなあと思いました。

とうがらしを食べ過ぎると目が悪くなるという話もあるようですが、人々はあいかわらずたくさんのとうがらしを食べています。大丈夫かな？





学校と子どもたち

バングラデシュでは、プライマリー
 (小学校)、ハイスクール(中学校)、
 カレッジ(高校)、大学が置かれてい
 ます。

日本では、小学校と中学校程度の
 教育を子どもたちに受けさせなくて
 はならないというきまり(義務教育
 といいます)になっていますが、こ
 では小学校5年間が義務教育です。

けれども、道ばたでは仕事をしてい
 る子どもたちもたくさん見かけ、
 「全員が学校に行っている」とはいえ
 ない状態です。学校に行くには、制服

や文房具をそろえるためにお金がいります。家が貧しくそれらのお金が払えない、子ども
 も働かないと家族みんなが食べていけない、進級テストに合格できなくて学校をやめて
 しまう、など理由はいろいろです。だから、子どもはもちろん大人の中にも文字が書けな
 かったり計算ができなかったりする人たちが大勢いるのです。

学校に行けば、文字も書けるし、計算もできる、テストにどんどん合格していけば、将来
 たくさんお金をもらえる仕事につくことができます。だから「学校に行ったほうがいい」
 とみんなわかっているのです。でも、

学校	クラス	年れい	日本でいうと？	
ツカレ シレ	12	17~18	3年生	高校
	11	16~17	2	
ハイ スク ール	10	15~16	1	中学校
	9	14~15	3年生	
	8	13~14	2	
	7	12~13	1	
プ ライ マ リ ー	6	11~12	6年生	小学校
	5	10~11	5	
	4	9~10	4	
	3	8~9	3	
	2	7~8	2	
	1	6~7	1	

わたし がっこう へ いったら、 今日 食べる ごはん は どうなる の？

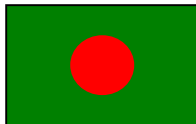


... 学校に行かず 働く ことで 家族 を 支えている という 子ども も が、 ここには たくさん いる のです。

今、私は同じバングラデシュで活動している隊員の人たちと一緒に2年生の算数ドリル
 を作っています。「テストに合格できなくて学校をやめてしまう」子どもたちが少しでも減
 るといいなあと思っています。



だれもが学校で学べるということは、「世界中で当たり前」のことで
 はないんだね。世界には「学校に行きたい」と思っても行けない子ども
 たちもいることを忘れないで。

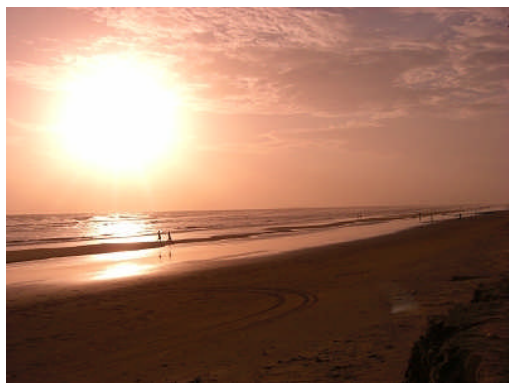


わたしの住むまち、コックスバザール

今回はわたしの住んでいるまち、コックスバザール市を紹介しします。コックスバザールは Bangladesh の南東部にあります。首都ダッカから飛行機で1時間、バスだと約10時間かかり、ちょうど東京と鳥取の間を移動するくらいの感覚です。

ここはミャンマーという隣の国とも近く、今までの長い歴史の中で何度もミャンマーの土地になったことがある、という場所です。そのため、ほかの Bangladesh のまちとは少し違った雰囲気、私達と似た顔立ちのミャンマー系の人々もたくさん住んでいます。また、ミャンマーのことを「バルマ」と呼ぶので、「バルミス」(バルマの、バルマの人たちのという意味)と名前のつく食べ物や店も多いです。

ここにはなんと「世界一長い砂浜海岸」があることで有名です。この海に沈む夕日は大変美しいことで知られていて、たくさんの方がやってきます。新婚旅行で来る人が多いのもうなずけます。私も時々砂浜に行って夕日に元気をもらいます。



ちなみに、海といえば日本なら「夏」ですよ。こちらでは、冬になると海への観光客が増えるのです。はっきりとした理由は尋ねていませんが、きっと冬は天気がいい(雨が少ない、涼しくて過ごしやすい)こと、雨が降らないから川から流れてくる水がきれいなところが関係しているのではないかと考えています。ただ、

残念ながら雨が降らなくても水は土色ですが。

時々ごはんを一緒に食べさせてくれる近所のご夫婦、一緒に仕事をしている先生たち、「元気？」と電話をくれる友達、顔見知りになった八百屋の店員さんなどなど、私はここで多くの人に支えられて生活しています。自分の今いる場所で、たくさんの人とつながって生きているということは、すごくうれしいことだと思っています。

みんなも自分のいる場所、周りの人々との関係をじっくり見てみてください。きっと「ここにいてよかった。幸せだなあ」と感じられることがたくさん見つかるはずですよ。



ラカイン族(ミャンマー系)の子どもたち

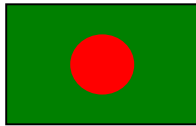


日本の温かいそうめんのようバルミスツバ



আসসালামু আলাইকুম

アッサラーム アライクム



バングラデシュ通信 NO.10
 20年度1次隊 青年海外協力隊
 岩美町立岩美西小学校 宮本優子
 2008年12月10日

日本人学校の学習発表会に行ってきました

首都ダッカには、バングラデシュで働くお父さんお母さんをもつ子どもたちが学ぶ「日本人学校」があります。今そこでは幼稚園で10人、小学部で12人の子どもたちが学んでいます。小学部では日本の学校と同じ教科を、日本人の先生方と一緒に学びます。バングラデシュの学校にはない運動会や学習発表会も、この学校では行われています。学習発表会では、子どもたちが総合的な学習を中心として学習したことを力いっぱい伝え、見ていた人々から大きな拍手をもらっていました。少し紹介しますね。



2年生

学校に行かずにはたらく子どもたちのおかれています。ようきょうや、その子どもたちをサポートするしせつ・だんたいについて。

3・4年生

バングラデシュの産業や貿易について。バングラデシュで多くさいばいされているジュートを使って「しおり」も作ったようです。

5年生

バングラデシュでは水道の水をのむことができません。そのひみつをさぐって見に来た人たちにわかりやすく説明してくれました。

小さい学校なので、1年生から5年生までみんなが力をあわせて発表会を作り上げている様子、バングラデシュでしか学べないことを一生懸命学んでいる様子が伝わってきました。大人が知らないような秘密もたくさん見つけていて私もとても驚きました。

その場所でしか学べないことがきっとあると思います。日本人学校の子どもたちはダッカでしか学べないことを、岩美西小学校の子どもたちは、その校区でしか学べないことを、一生懸命学んで、たくさんの人に伝えていってほしいなと思いました。



全校で英語ミュージカルにもチャレンジしていました。「パフ・ザ・マジック ドラゴン」